公益社団法人空気調和・衛生工学会 北海道支部 2014年度セミナー

次世代都市・建築のエネルギー需給の在り方　北海道の未来はどうなる？

建築の省エネルギー性を高める取組みは、国内外を問わずこれまでに数多くあり、住宅の省エネルギー基準も改正され、最近では建築のZEB化が推進されている。一方、電力のスマートグリッド化に代表されるように建築群・コミュニティレベルでのエネルギー供給方法についても欧州の事例などを参考に検討されている。

北海道下川町や岩手県紫波町などの地方町村では、省エネルギー性の高い住宅群を計画・配置し、地域材をバイオマス熱源として活用した地域熱供給網を構築することで、持続・存続可能な地域デザインを展開している。一方、人口密度の高い都市部では、事務所・商業施設・学校・医療施設・住宅など建築用途は多様で、既存建築物の更新やそれぞれの建築のZEB化の方法は未知数である。以上を背景として、建築群・コミュニティレベルでみたときの将来のエネルギー供給をどのようにデザインするべきかを横断的に議論する場はあまりない。本セミナーでは、「次世代都市・建築のエネルギー需給の在り方　北海道の未来はどうなる？」と題して、専門家による基調講演とディスカッションの場を設け、将来にむけた方向性を共有したい。

主　　　催　　(公社)空気調和・衛生工学会北海道支部

後　　　援　　(一社)日本建築学会北海道支部

　　　　　　　(一社)建築設備技術者協会北海道支部

(一社)電気設備学会北海道支部

　　　　　　　(一社)日本マンション学会北海道支部

日　　　時　　平成27年3月2日（月）14：00～16：30（開場13：30）

会　　　場　　北海道大学学術交流会館 小講堂（札幌市北区北8条西5丁目：011-706-2042）

プログラム（敬称略）

・開会挨拶　支部長　羽山 広文（北海道大学）

・基調講演　佐土原 聡（横浜国立大学）

「次世代都市のエネルギー需給と地域熱供給の役割」

・講演　伊藤 智徳（北海道ガス）

「分散型電源の普及拡大とエネルギーマネジメントサービスの確立に向けた取り組み」

＜休憩＞

・話題提供①　月館 司（北海道立総合研究機構　北方建築総合研究所）

・話題提供②　菊田 弘輝（北海道大学）

　 ・パネルディスカッション「これからの北海道の都市部と地方町村のエネルギー需給像」

　　　パネラー：佐土原 聡・伊藤 智徳・月舘 司・菊田 弘輝（前掲）

　　　ファシリテーター：斉藤雅也（札幌市立大学）

　 ・閉会挨拶　副支部長　村井 裕康（山下設計）

・進行　斉藤 雅也（前掲）

定　　　員　　100名（申込先着順）

参　加　費　　500円（資料代含む）、但し学生は無料。

公益社団法人空気調和・衛生工学会 北海道支部

〒060-8628　札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究院　建築環境学研究室内

電話：011-706-6250　Fax：011-706-7828

E-mail：shase.hkd@gmail.com